

# 歴史科学協議会編 『歴史科学の思想と運動』 刊行のご案内

歴史科学協議会では、歴史科学大系(校倉書房刊行)で唯一未刊となっておりました『歴史科学の思想と運動』を2019年12月に大月書店より刊行いたしました。『歴史科学の思想と運動』は、歴史科学大系の第32巻として企画されていたものでありますが、諸般の事情から刊行が遅れておりました。2018年6月に校倉書房が事業を停止いたしましたため、同社からの刊行は不可能となりましたが、その後、大月書店との協議を経て、単独の書物として、同社から刊行する運びとなった次第です。

『歴史科学の思想と運動』の目次は、以降に記載した通りです。大月書店の御厚意により、当初紙数の関係で割愛を予定していた「4 松川事件と歴史学」「5 反核平和・60年安保と歴史学・科学運動」「6 アジア・フォード財団資金供与問題運動」を収録することが出来ることとなり、より充実した内容とすることができました。また、「1 歴史科学の誕生と展開」(10)石母田正「クロオチェの歴史理論についての感想—羽仁氏の近業「クロオチェ」の紹介をかねて—」は、『石母田正著作集』にも未収録の貴重な作品であり、「3 破防法反対運動と国民的歴史学運動」(5)「科学者の道—党員歴史家会議草案」は、歴史科学大系の編集担当者が独自に入手した謄写版刷の資料を活字化したものであり、現代史研究の貴重な資料にもなりうるものです。

戦前の歴史科学の勃興期から歴史科学協議会の成立に至る歴史科学運動の歩みとその思想的背景に学ぶために、この『歴史科学の思想と運動』は重要な資料集になるものと思われまふ。是非、多くの方に手に取っていただきたく、ここに御案内いたします。

送料込み 8,000 円でお頒けいたします。同封の振替用紙にてご送金ください。

⇒郵便振替口座 00150-0-651346 一般財団法人歴史科学協議会  
折り返し書籍をお送りいたします。

【問い合わせ先】

114-0023 東京都北区滝野川 2-32-10-222 号  
一般財団法人歴史科学協議会  
電話 03-3949-3749(FAX 兼用)

## 歴史科学協議会編『歴史科学の思想と運動』目次

### 一 戦前

#### 1 歴史科学の誕生と展開

- (1) 「社会問題講座」全13巻総目次
- (2) 「マルクス主義講座」全13巻総目次
- (3) プロレタリア科学研究所創立宣言
- (4) 『プロレタリア科学』創刊号・終刊号目次
- (5) 羽仁五郎「プロレタリア歴史学研究方針」
- (6) 渡部義通「マルクス主義史学『創生期』」
- (7) 『歴史科学』創刊号・終刊号目次
- (8) 『歴史』創刊号・終刊号目次

#### (9) 歴史学研究会の結成

- ① 生誕の言葉
- ② 座談会「歴研創立の頃」
- (10) 石母田正「クロオチェの歴史理論についての感想—羽仁氏の近業「クロオチェ」の紹介をかねて—」

### 二 戦後

#### 2 民主的諸学会の誕生と諸運動

- (1) 歴史学研究会の再建
- ① 「国史教育座談会報告」

- ②『歴史学研究』「会報」(第122号、1946年2月号)
- ③井上清「時評」(『歴史学研究』第122号、1946年6月)
- ④『歴史学研究』「会報」(第123号、1946年8月)
- (2)『歴史家は天皇制をどうみるか』(はしがきと目次)
- (3)日本史研究会の結成
  - ①『日本史研究』第1号(1946年5月)巻頭
  - ②前田一良「われわれの立場」
  - ③藤谷俊雄「歴史学徒の再出発」
  - ④会則
- (4)『歴史評論』創刊号(1946年10月)編集後記
- (5)「くにのあゆみ」の検討
- (6)『社会構成史体系』
  - ①発刊のこぼ
  - ②内容及び執筆者

### 3 破防法反対運動と国民的歴史学運動

- (1)破防法反対運動—『歴史研究と自由』(東大新書)
  - ①「序」
  - ②「目次」
  - ③「はじめに」(三上次男)
  - ④上原専禄「歴史研究の自由について」
  - ⑤家永三郎「実証主義の立場から」
- (2)祇園祭
- (3)月の輪古墳問題—座談会「合評会 映画『月の輪古墳』」
- (4)1955年度民科歴史部会全国総会議事録
- (5)「科学者の道 研究資料I」「党員歴史家の当面の任務」1951・4 党員歴史家会議(草案)

### 4 松川事件と歴史学

- (1)歴史評論編集部「松川事件について」
- (2)『歴史評論』第52号(1954年2月)特集「松川事件と歴史学」
  - ①東北大歴研有志「ルポルタージュ 松川判決の日に」
  - ②各支部の反響
- (3)『歴史評論』第67号(1955年6月)特集「松川事件と歴史学」
  - ①鈴木正四「松川事件被告との面会」
  - ②鈴木正四「松川事件被告との面会記」
  - ③竹内景助「松川と三鷹」
- (4)古屋哲夫「松川事件に至る反共意識の動員について」
- (5)1961年度歴史学研究会総会参加者一同「松川事件全被

- 告に対する無罪判決の要請文」
- (6)『歴史評論』第132号(1961年8月)特集「現代史と松川事件」
  - ①山口啓二「真実は何人にも認識できる—『松川のたかひ』に参加した一歴史家の感想」
  - ②鈴木信「歴史家の皆さんへ」
- (7)『歴史評論』第133号(1961年9月)特集「松川事件と今後の課題」
  - ①家永三郎「今後の課題」
  - ②塩田庄兵衛「松川判決をきいて」
  - ③犬丸義一「判決前のマス・コミを検討する」
  - ④野原四郎「松川判決をきいて」

### 5 反核平和・60年安保と歴史学・科学運動

- (1)安保問題歴史科懇談会『『日米安全保障条約改定』反対について』
- (2)浜林正夫「歴史を学ぶものとして安保闘争にどうとくむか」
- (3)吉岡昭彦「日本における西洋史研究について—安保闘争のなかで研究者の課題を考える」
- (4)堀米庸三「総合的歴史観への一提言—吉岡昭彦君への答にかえて」
- (5)座談会 現代史における平和の課題

### 6 アジア・フォード財団資金供与問題運動

- (1)小野信爾「中国現代研究における安保体制」
- (2)時評「〈東洋文庫に対するフォード財団、アジア財団資金供与をめぐって〉」
- (3)野原四郎『『歴史』の神おろし』

### 7 歴史科学協議会の結成

- (1)吉田晶「歴史科学協議会の二年」
- (2)名古屋歴史科学研究会結成のよびかけ
- (3)第1回、第2回歴史学関係四団体協議会
  - ①歴史評論編集委員会「第1回歴史学四団体協議会の報告をめぐって」
  - ②歴史評論編集委員会「第2回歴史学関係四団体協議会について」
- (4)歴史関係四団体連絡委員会の報告
- (5)歴史科学協議会創立総会報告
- (6)歴史科学協議会第1回総会報告
- (7)創立宣言、会則